

# こころる便り

第285号  
令和5年12月

〒679-1434  
兵庫県たつの市新宮町大屋六六八十二  
株式会社 新宮運送グループ  
代表 木南 一志  
K1n1nam1@shingu.co.jp  
電話 079-1-75-1212



新宮運送ホームページ

## 整えれば調う

一気に冬の様相となって体調管理が難しくなる条件がそろっています。できることなら、少しオーバーでも防寒対策をして暑ければ脱ぐという形で調整するのがいいでしょう。準備の大切さを知る人は事前にしっかりと取り組んでいます。

「形から入る」という指導方法があります。中身を理解してからとなると、時間がかかりすぎることや頭でっかちになってしまうことを防ぐためにも、まずは形を教えて少しずつ中身を理解していくという方法で、スポーツでも武道でも同じように形を教えます。そこからは本人の努力次第ということになるのですが、自分流というものにしていくためには「師」という存在が必要です。

「マネは学ぶの語源」という言葉どおり、しっかりと真似ることが始まりです。

学問の「学」は、マネをして自分の身につけること。「問」は、自分の心にウソはないかと問いかけること。と教わりました。

子供が大きくなっていく段階で、大人のマネをして、ウソをつくことを知り、このように人間は育つと教えてくれます。自分も同じような形で育ってきたはずですが、大人になると知恵が働いて、手を抜くことを覚えたり、尤もらしい言い訳を口にしたたりするようになります。

それは生きていく術でもあるわけですが、そのようなことを繰り返していると、人間としての信用がなくなり、社会の中で取り残されていくこととなります。そのような人が注目を浴びようと大事件を起こすことがあります。「心の問題」と取り扱われていますが、心をコントロールするにはどうすればいいか。

それは、モノを整えることです。整理整頓すること、心も調うようになるのです。中国古典の中にも「格物致知」として示されています。大昔から心が乱れるのは誰もが経験してきたことでもあるのです。

ここを調えるために、掃除は大きな役割を果たしているといえます。小さな積み上げがいつの日にか大きな力となって自分を育てていくのです。知識を積み上げる前に、その基礎になる「ここを調える」ことで立派な家を建てることのできるのだと私は考えています。

年末の大掃除の機会を利用して、目の前にあるモノをしっかりと揃えてみましょう。何かが変わり始めるはずですよ。

この一年もお世話になりました。くる年が皆様にとってかけがいのない佳年となることをお祈りしております。

被災地にこころを寄せながら

木南 一志 拝

## 尋常小學校國史 上巻

### 第九 聖武天皇 ②

聖武天皇は、あつく佛教を信じたまひ、之をひろめて世の中を太平にみちびかんとおぼしめされ、國ごとに國分寺を造らしめたまへり。ことに奈良には、大和の國分寺として、東大寺を建て、大佛を鑄て之を置かしめたまへり。其の大佛殿は後、度々造りかへられしも、高さ十五丈餘ありて、木造の建物にては世界第一といはれ、大佛も五丈餘の高さにて、其の大なるには驚かざるものなり。

聖武天皇の皇后は、藤原鎌足の孫にましく、世に光明皇后と申したてまつる。皇后もまたあつく佛教を信じたまへり。御生れつきなまきけ深く、貧しき人々のために病院を建てて薬を施したまひ、又孤兒を集めて之を養はしめたまへり。

### 第十 和氣清麻呂 ①

佛教の盛になるにつれて、すぐれたる僧多く出でたり。中にも行基は、諸國を旅行して、あまたの寺を建て、又道を開き、橋をかけ、池を掘り、舟つきを定めなどして、世の中の便利をはかりたれば、大いに人々より尊ばれたり。されどまた道鏡の如き無道の僧も出来り。

道鏡は、第四十代稱徳天皇の御代に仕へたてまつりて、政治にもあづかり、すこぶる勢をふるへり。たましく、



和氣清麻呂佐八幡の教を中し上ぐ

道鏡にへつらへるもの、宇佐八幡の御告といつはり、道鏡をして皇位に即かしめたまはば、天下太平ならん。と天皇に申し上げたり。道鏡これを聞きて大いに喜びしが、天皇は和氣清麻呂を宇佐につかはして、神の教を受けしめたまへり。